

学生の社会的成長を支援する
滞在型図書館を目指して

マイライフ・マイライブラリー



東京女子大学図書館

マイライフ・マイライブラリーは

ハード面

多様な学生ニーズに対応した空間

ソフト面

多様な学生ニーズに対応した
「学生協働サポート体制」

この大きく2つの整備からなっています。

多様な学生ニーズに対応した 「学生協働サポート体制」

■積極的な学生には・・・

整備された学術情報の利用、学内企画への参加、他の学生への支援を通して更なる成長を促す。

■大学の学習・環境の転換に適応できず、学習の目的が見定められない学生には・・・

目標を見出し自分の力で一步踏み出せるように支援。

以上を目指しています。

ボランティア・スタッフ



利用案内、「図書館だより」執筆、選書、推薦図書POP紹介

サポーター

利用案内、
配架、
蔵書点検、
新入生オリエンテーション
館内案内



5

東京女子大学

システムサポーター

PCの操作説明、
トラブル対応

(採用時には
スキルチェック)



6

東京女子大学

システム・サポーター在席時間

	月	火	水	木	金
1					
2	★	★	★	★	★
3				★	★
4	★	★	★		
5	★	★	★	★	★

学習コンシェルジュ(大学院学生)



資料の探し方、レポート・論文作成についての基本的な質問、
学習全般に関する質問に対応

学習コンシェルジェ

	月	火	水	木	金
在席時間	12:25～13:55				
専攻 (専門分野)	心理学 (臨床心理学)	人間文化科学 (日本近代文学)	人間文化科学 (英文学)	現代文化 (アメリカ研究)	日本文学 (中古文)

相談できることは

- 資料の探し方 ○レポートの書き方の基本
- 図書館にある入門書などの紹介 ○その他 学習全般に関すること

9

東京女子大学

■ 学生アシスタント人数 (2008年度後期)

	応募人数	採用人数
ボランティアスタッフ	20名	20名
サポーター	26名	24名
システムサポーター	14名	8名
学習コンシェルジェ (前期から継続)	9名	5名

計57名

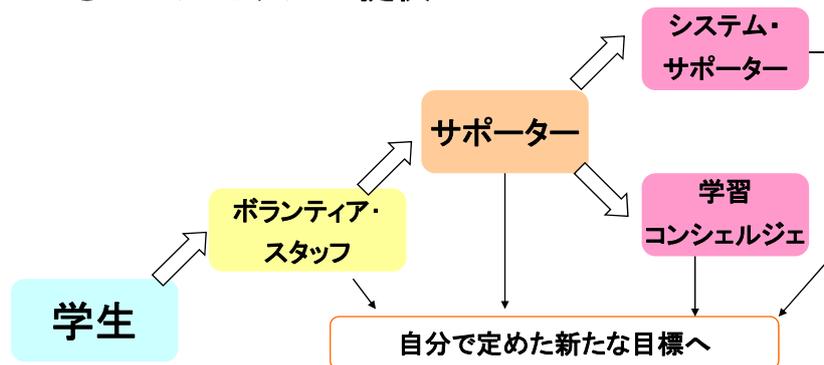
■ サーチャー ・ 情報検索支援

10

東京女子大学

学生アシスタント自身の成長

- 「支援される立場」から「支援する立場」へ
- ステップアップしていく
- ロールモデルの提供

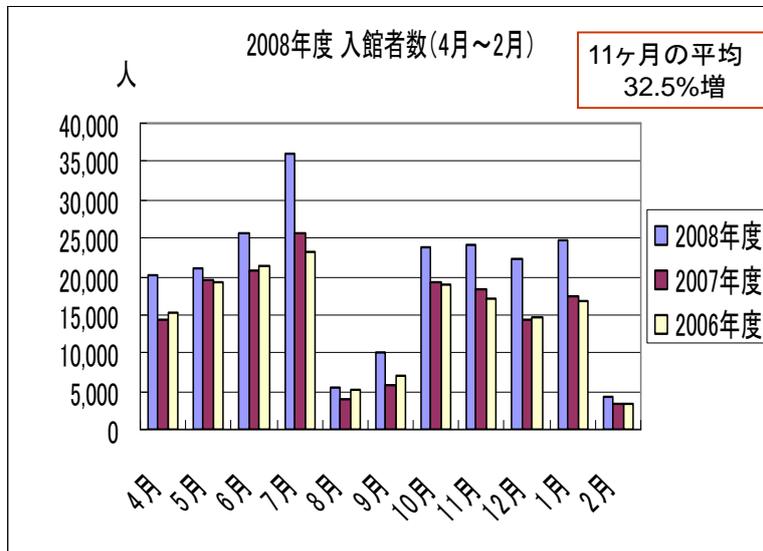


11

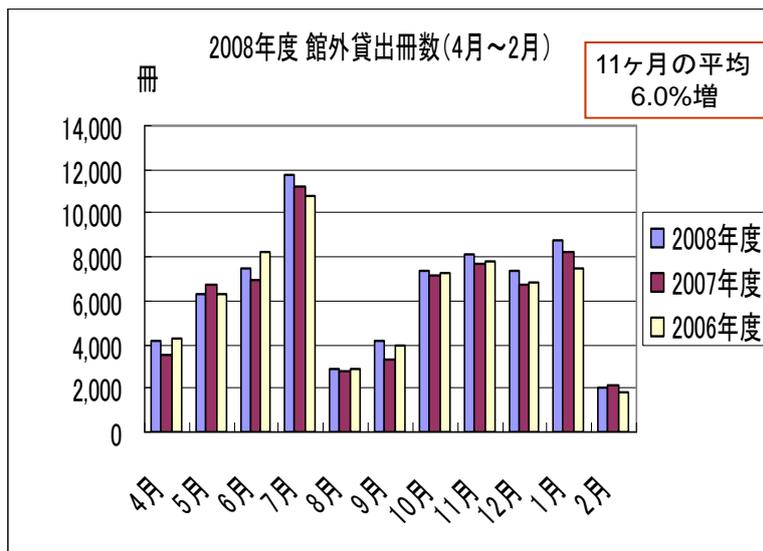
学生アシスタントの全体ミーティングの様子



12



13



14

利用形態の変化

- 書架からメディアスペース等に資料を持ち込み、レポート等作成。
- コミュニケーション・オープンスペースで、PCや資料を利用して、話し合いながら学習。
- リフレッシュルームで飲食しながら、個人あるいはグループで学習。
⇒学生が自分の目的や気分でスペースを選んで利用している。

15

おわりに

- 学生支援GPの補助金を活用。
- 「マイライフ・マイライブラリー」の活動を軌道に乗せる。
- 学生たちの学生生活の一つの拠点となることを目指す。

16